

PR20122

☆共 JBN 外1080 (産業、IC) (05・9・27)

【産業担当デスク殿】20122

◎エプソンとウエハー供給契約

CAMDが需要増に対応

【ミルピタス (米カリフォルニア州) 26日PRN=共同JBN】カリフォルニア・マイクロ・デバイス (以下CMD、ナスダック: CAMD) は26日、同社ファウンドリー・リソースを拡大して、予測される持続的成長を支える動きとして、セイコーエプソン (以下エプソン) との間でウエハー供給契約を結んだと発表した。この契約は、携帯機器、パソコン、デジタル家電の各市場を標的とするCMDの集積回路に対する大量ウエハー製造リソースとして、日本にあるエプソンのファウンドリー (IC製造工場) を利用する。

CMDのマニー・メレ副社長 (供給チェーン担当) は「当社の生産量増加に促されて、当社はウエハー製造リソース名簿に新たに世界的水準のファウンドリー・パートナーを付け加えることになる。ファウンドリー・サービスプロバイダーとしてエプソンの実績は、その品質への強いこだわりとともに、当社にとって顧客への最高水準のサポートの支援となる」と語った。同氏は、CMがこれまで中国のアドバンスト・セミコンダクター・マニュファクチャリング (ASMC) と日本の三洋電機と同様のファウンドリー契約を結んでいると述べた。

エプソン・エレクトロニクス・アメリカの赤羽俊雄社長兼CEOは「当社は1981年に初のファウンドリー・ウエハーを出荷し始めて以来、米国の半導体メーカーとは多くの長期的な関係を樹立してきた。CMDは過去4年にわたり印象的な成長を達成し、その製品に対して引き続き需要増が見込まれており、われわれは同社との長期的な関係を期待している」と語った。

▽エプソンについて

エプソンは、プリンター、プロジェクター、LCDなど画像製品のグローバルリーダーである。同社は最高品質、機能性、小型化、エネルギー効率で知られる製品を持って、世界の顧客のビジョンと期待を超えることに注力している。同社は世界の115カ国に8万5647人を雇用するネットワークを持っており、世界的な環境と所在する地域社会への貢献を誇りにしている。日本にあるセイコーエプソンを中心に、グループの2004会計年度の連結売上高は1兆4797億円。詳細はウェブサイト (<http://www.epson.co.jp>) まで。

▽カリフォルニア・マイクロ・デバイスについて

同社は携帯機器、パソコン、デジタル家電各市場向けの特定用途アナログ半導体製品の有力サプライヤーである。主要製品は特定用途集積受動 (ASIC、商標) と特定用途の高価値ミクスドシグナルICなど。同社と製品の詳しい情報はウェブサイト (www.calmicro.com) まで。

(了)

▽問い合わせ先

Greg Miller, Chief Financial Officer of California Micro Devices,

+1-408-934-3144, or gregm@calmicro.com/ Web site: <http://www.calmicro.com> /